

## 先週の説教要旨

『賛美の力』井上隆晶牧師  
使徒 16 : 25~34、ヨハネ 6 : 11~21

①【真夜中の賛美によって】パウロとシラスがフィリピというギリシャの町に行った時のことです。占いの霊に取りつかれていた女奴隷から悪霊を追い出したことがきっかけとなり、彼らは捕らえられ、鞭で打たれ、牢屋に入れられてしまいました。25節に「真夜中ごろ、パウロとシラスが賛美の歌をうたって神に祈っていると、ほかの囚人たちはこれに聞き入っていた。」とあります。背中が痛んだでしょうが、彼らは牢屋の中で真夜中に賛美の歌をうたって神に祈ったのです。牢の中にいたほかの囚人たちはこの賛美に聞き入っていました。このことは、賛美とか祈りというのは人の苦しみを癒し、慰めを与えることができるということを教えています。真夜中の賛美ということで、思い出した話があります。長崎で被爆し、二人の幼い子供を残して41歳で亡くなった永井隆博士（カトリックの信者）の本の中にあった記事です。「原子爆弾がはじけたとき、この浦上のカトリック信者1万人のうち八千人が死んだ。ここには純心と常清の二つの女学校があった。いずれも女子修道会の経営するところで、校長以下教員はすべて修道女がほとんどすべてであった。純心の生徒たちは、工場に動員されていたが、燃える火の中で賛美歌をうたいつつ、次々と息絶え、灰になっていった。…常清女学校のほうも同じ最期だった。…女学校から東のほう二百メートルの川端に真夜中幾人かの合唱するラテン語の賛美歌が続いたり絶えたり聞こえていたそうである。夜が明けてみたら、修道女がひとかたまりになって、冷たくなっていた。」以前、キャロル・ザックさんのハーブによる癒しの集会に出た時、賛美が病人の痛みを和ら

げ、心の平安と慰めを与えてくれるという話を聞きました。もう亡くなくなりましたが、聖ルカ国際病院の日野原重明先生も「音楽療法」というのをされていました。パウロとシラスが何を賛美したのかは分かりませんが、たぶん詩編だと思えます。詩編はもともとパープに合わせて歌うものでした。詩編は、朗読する時もそうですが、聞いているだけでも心が慰められます。また信仰を与え、勇気を与えます。賛美の力は大したものです。地震が起こって、牢の扉が開いてしまったのに、誰も逃げなかったのは、囚人たちの心が賛美で満たされ、癒されたからだと思えます。これを通してこの後、看守一家が信仰の道に入ることになるのです。賛美は神が人間にお与えになった、心と魂を癒す治療方法です。神は毎週、教会を通して音楽療法を行い、私たちを癒しておられるのです。

②【感謝の祈りを唱えてから】「さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。」（ヨハネ 6 : 11）男だけで五千人という人を前にして、五つのパンと二匹の魚では、普通に考えるならば、アンデレがいうように「何の役にも立たない」（9節）でしょう。しかしわずかな五つのパンと二匹の魚をイエス様は感謝したというのです。私たちだったら、これではあまりにも少ない、とやる気を失います。なぜイエス様は感謝をすることができたのでしょうか。聖書に「どんなことにも感謝しなさい。」（1テサロニケ 5 : 18）という有名な言葉があります。いい言葉ですから、クリスチャンでなくても日本人には好まれる言葉だと思えます。でもこの後に「キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」という言葉が続いています。キリストにあつてどんなことにも感謝しなさい、という意味

# 週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957年12月1日 教会設立 2001年12月2日  
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

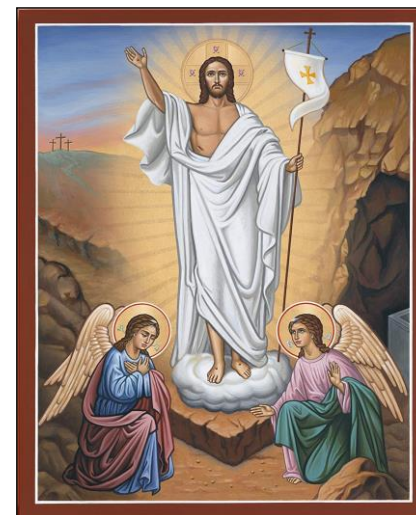
Eメールアドレス : [miyakoch@eagle.ocn.ne.jp](mailto:miyakoch@eagle.ocn.ne.jp)

ホームページアドレス : <https://miyako.jima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上隆晶

2024年9月1日 No.1783



《キリストの復活》

## 都島教会の2024年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。」（1コリント 3 : 11）

### 2024年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均 27 名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 会堂建築のための具体的な準備をします。
- 4 皆で教会を建てる意識を育てます。